

立命館大学アート・リサーチセンター紀要

『アート・リサーチ』規定

1. **投稿資格**：アート・リサーチセンター(ARC)で行われる研究プロジェクトに参加する学内外の研究者（大学院生を含む）および編集委員会が認めた者とする。なお、学部学生の単独投稿は認めない。

2. **原稿の種類**：

いずれも未発表の原稿とし、使用言語は日本語または英語とする。

投稿は（1）（2）に限り、（3）～（9）は編集委員会が依頼または企画する。

（1）研究論文（査読有）は、目的と結論が明確であり、新知見を含むオリジナルな研究成果をまとめたものとする。

（2）研究ノート（査読無）は、研究論文には及ばないが、研究途上にあり、ある程度まとまった結果や、各研究分野における新しい研究方法の紹介などを記述したものとする。

（3）依頼論文（査読無）は、編集委員会より執筆依頼を受けて、オリジナルな研究成果をまとめたものとする。

（4）ARC 国際セミナー発表からの原稿は、ARC 国際セミナー登壇者が、発表内容を原稿にまとめたものとする。

（5）研究紹介（エッセイ）は、情報系研究者、若手研究者が各自の研究を紹介したものとする。

（6）テクニカルサポート通信は、テクニカルサポートボードの活動や取り組みを紹介したものとする。

（7）収蔵品の紹介は、若手研究者が ARC の収蔵品について紹介したものとする。

（8）ARC 国際セミナー報告は、若手研究者が ARC 国際セミナーの内容をまとめ、報告するものとする。

（9）特集号は、編集委員会が企画し、依頼した論文集とする。

3. **原稿の文字数**

（1）研究論文：和文原稿は 12,000 字程度、英文原稿は 6,000words 程度

（2）研究ノート：和文原稿は 8,000 字程度、英文原稿は 4,000words 程度

4. **原稿提出**

（1）原稿は完成原稿を提出する。

（2）原稿は、所定のテンプレートに従い、必要な情報と書式を整えた上で投稿することとする。原稿の不備が著しい場合は、不受理とする。

（3）締切日を過ぎて投稿された原稿は、次号以降の掲載対象とする。

（4）使用する図版等の掲載許可については、著者が自らの責任において、公開までに必要な手続きを済ませておくこととする。

5. **査読・修正・採否**：投稿された研究論文は、2 名による査読結果に基づき、編集委員会において採否を判断する。再査読は、1 回のみとする。査読結果に基づいて原稿を修正する場合

は、必ず変更箇所がわかるように修正することとする。なお、査読者または編集委員会が原稿の種類変更を推奨する場合がある。

研究ノートは査読対象外であるが、編集委員会が掲載の可否を判断し、修正を求める場合がある。

6. **校正**：著者校正は 2 回までとし、文章の加筆・修正は原則として初校まで、再校は修正結果の確認程度とする。なお、初校の校正が 2 週間を越えて返却されない場合、再校の校正が 10 日を越えて返却されない場合は、著者は修正を終えたとみなす。
7. **公開・再利用**：編集委員会が掲載を決定した原稿は、インターネット上のオンラインジャーナルとして、ARC のウェブサイトにおいて公開する。また、立命館学術成果リポジトリ（R-Cube）など、他の媒体においても公開する場合がある。オンラインジャーナルとして発行した原稿は、事後に紙媒体でも発行する。著者が出典を明示して再利用することは妨げない。
8. **その他**：必要な事項については、編集委員会において判断する。